

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

記入年月日:令和 6年 2月 26日

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1			
	2 職員の配置数は適切であるか	18	2			・子どもがやりたいサッカーと一緒にやってくれたり、近くの川に釣りにも連れていってくれたり、職員さんがうまく連携して行ってもらっているのだと思います。 →職員の配置数は満たしています。限られた職員数の中でも、個々の願いに応じていけるよう、活動の仕方の工夫や職員間の連携をさらに充実させていきたいと思っています。
	3 職員の専門性は適切であるか	19			1	→職員一人一人の資質向上の目標を立て、職員一人一人が専門性を向上していけるよう取り組んでいきます。
	4 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	3		1	・出入口付近が混雑した時、体の動きがゆっくりな子どもが少し危ないと感じるところがある。立ち上がる所に手すりがあると自分でがやりやすいかも。 →出入口付近が狭いため改善の工夫を行います。玄関付近の荷物置き場を室内に移動させることで玄関付近スペースを広くします。また、座位を安定しやすくするため椅子の工夫を行い、立ち上がる場所の手すりの設置を検討していきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画※ i が作成されているか	20				・療育記録を読ませてもらうと、毎日の出来事がきちんと記録されており、いろんな場面での職員の対応の仕方が私も勉強になってます。特に大人と子どもの会話文が書かれていることで、内容が分かりやすい。ちゃんと本人の気持ちも聞いてくれているのがすごくわかる。
	6 活動内容※ ii が固定化しないよう工夫されているか	19	1			
	7 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	3			・日常的に、障害のない子とある子のやり取りの中で、成長していくことができていると感じています。 →同法人内の恵の実つ子クラブの子どもたちと、交流保育を行いながら活動をしています。支援学校に通う子どもたちも、恵の実つ子クラブの子どもたちと一緒に過ごす時間がより増えていこう、職員間の連携や活動の工夫をしていきたいと思っています。
保護者 への 説明等	8 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20				
	9 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20				
	10 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20				・利用時間が終わっても、本人が帰りがたらずに困っていたが、職員さんから対応の仕方についてアドバイスをしてもらい、実践したことで早く帰れるようになった。 ・毎回丁寧にアドバイスをしてくれて感謝しています。
	11 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20				→定期的に茶話会を開催し、保護者同士で話をしながら交流できる機会を作っています。保護者のみなさんが、より参加しやすい方法を検討していきたいと思っています。
	12 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20				
	13 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19				1 →情報伝達の仕方など、利用者や保護者ひとり一人に合わせて配慮をしているつもりですが、日々変わっていく状況に合わせて必要な配慮ができるよう、保護者の方との情報共有をしっかりとしていきたいと思っています。

	14	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	1	1	→自己評価の結果については、分析を行い、HPに掲載すると共に、次年度への改善事項等を踏まえて茶話会で報告を行います。 →定期的な会報は、法人として「恵の実だより」を発行しています。活動概要や行事予定等も、その都度連絡をしていますが、連絡が少し遅くなってしまう時もあります。できるだけ、早めに連絡ができるようにしていきたいと思います。
	15	個人情報に十分注意しているか	20			
非常時等の対応	16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	5	2	→いろいろなマニュアルが整備されていますが、周知・説明が十分に実施できていないところがありました。次年度最初の茶話会で、マニュアルについての説明を改めて実施する予定です。
	17	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	2	4	→定期的な避難訓練を実施しています。今年度は、災害時の業務継続計画の策定も行いましたので、それも合わせて、年度初めの茶話会にて周知・説明を行います。
満足度	18	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2		・親とのふれあいが足りないのか、学校も含めて最近行きしぶりがあります。結局通所することはできています。 ・ケンカしたりすると、「行きたくない」と言ったりするけど、最終的には、「やっぱり行きたい」と言う。 →ひとりひとりの置かれている状況によって、子どもたちはいろんな思いを抱えているのだと思います。一人一人のその時抱えている思いに寄り添い、どんな支援が必要なのか、保護者の方と一緒に考え合っていきたいと思います。 →事業所での活動に期待が持てるよう、子どもたちの願いに耳を傾けながら、子どもたちと一緒に活動内容の工夫を考えていきたいと思います。
	19	事業所の支援に満足しているか	20			

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。